

「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

研究課題名：「N-アッセイ LA FER-S ニットーポー」および「イアトロ フェリチン」
の基礎的検討

・はじめに

フェリチンは肝細胞、肝臓、脾臓、骨髄等の網内系細胞に多く分布し、他に肺、心臓、骨、腸管などに広く分布しています。フェリチンの産生は鉄の細胞内流入によって促進され、その量は組織の貯蔵鉄量を反映します。このため、血清フェリチンは、潜在性鉄欠乏状態の判定や鉄剤治療の指針として有用です。フェリチンは、鉄過剰状態の鉄蓄積の程度や各種の血液疾患の貯蔵鉄量の判定に用いられます。また、悪性腫瘍、肝炎等では細胞の崩壊によりフェリチンが異常に放出され、貯蔵鉄量と関係なく上昇することがあります。今回は、群馬大学医学部附属病院検査部で現在採用しているフェリチン測定試薬と他2社のフェリチン測定試薬について、比較検討することを目的として研究を行います。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの（「試料」といいます）や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

群馬大学医学部附属病院へ通院あるいは入院されている患者さんの検査後に残った試料を使い、2社のフェリチン測定試薬を用いて血中のフェリチン濃度を測定します。この結果を比較し、現在採用しているフェリチン試薬と2社のフェリチン測定試薬の違いについて考察します。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部附属病院において、2024年1月15日より2024年1月20日の研究期間の間に検査のための採血を実施され、血中フェリチン濃度の検査依頼があった方のうち、約30名を対象に致します。フェリチンは貯蔵鉄の量を反映し、鉄欠乏状態の早期診断に有用です。また、悪性腫瘍、肝障害、心筋梗塞、炎症などで貯蔵鉄量とは関係なく上昇するため、このような疾患が疑われる患者さんではフェリチンの臨床的意義が高いです。本研究の対象となることを希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。希望されなかった方

の試料または情報は、研究には使用しません。なお、代諾者（原則として1親等、亡くなられた方に関してはご遺族）による連絡も可能です。ただし、対象となることを希望されないご連絡が、論文等に公表される以降になった場合には、ご希望に添えない可能性があることをご了承ください。

・研究期間 研究を行う期間は学部等の長の承認日より2025年3月31日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

通常の診療で採血された残余血清および情報を研究のために使用します。

また、診療録情報（年齢、性別、診療歴、治療歴）、血液検査データ（MCV、MCHC、網赤血球数、Hb、Fe、UIBC、CRP、ALB、pALB、T-CHO、H-CHO、L-CHO、TG、AST、ALT、 γ -GTP、TP、CRE、BUN、Na、K、Cl、T-Bil、D-Bil、フェリチン）を研究のための情報として用います。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により研究対象者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来的に本研究成果は炎症性疾患の診断・治療経過モニタリングの一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性があると考えています。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、研究に際し群馬大学医学部附属病院検査部においては個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

この研究により得られた血液などの検体(血清)は、群馬大学医学部附属病院検査部(管理方法:鍵のかかる検査室の冷凍庫で保管、管理責任者:中嶋清美)で保管され、検査を終えた検体は、5年間保存し、保存期間が終了した後に個人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄(廃棄方法:医療廃棄物として感染

ボックスへ廃棄)いたします。また、研究のために集めた情報は、当院の管理責任者が責任をもってパソコン(保管場所：検査部内コンピューター室(常時施錠) ID、パスワードで管理されたパソコン、情報管理責任者：木村孝穂)に保管し、研究終了後は5年間、論文発表に用いる際にはその後10年間保存し、保存期間が終了した後に個人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄(廃棄方法：パソコン内でデータ末梢ソフトを用いて消去)いたします。

・研究資金について

本研究はニッポーメディカル株式会社、株式会社 LSI メディエンスから測定試薬が提供されます。本研究に係る資金源、起こり得る利害の衝突及び研究者等の関連組織との関わりはありません。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われられないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反(患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態)と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・研究組織について

この研究は、群馬大学医学部附属病院検査部が主体となって行っています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名：群馬大大学院医学系研究科・准教授
氏名：木村孝穂
連絡先：027-220-8576

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部
・主任臨床検査技師
氏名：岡崎瑠海
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師
氏名：下田望未
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師
氏名：長澤拓海
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師
氏名：岩井美翔
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師
氏名：中川真衣加
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師
氏名：福田直生
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師
氏名：館野日菜
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部
・主任臨床検査技師
氏名：内田 梓
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部・副技師長
氏名：高橋美紀
連絡先：027-220-8554

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部・技師長
氏名：中嶋清美
連絡先：027-220-8554

・ 研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学医学部附属病院検査部
主任臨床検査技師（分担者）
氏名：岡崎 瑠海

連絡先：〒371-8511

群馬県前橋市昭和町 3-39-15

Tel：027-220-8554

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
利用し、または提供する試料・情報の項目
利用する者の範囲
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法